

2026年度

人 文 社 会 学 部
共 創 学 部

筆 記 試 験

日 本 語

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をよく読んでください。

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
2. 机の上には、受験票・鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り（電動式は除く）・時計（時計機能だけのもの）・眼鏡以外のものは置かないでください。
3. 問題・解答用紙の両方に受験番号・氏名（ローマ字・カタカナ）を必ず記入してください。提出の前には記入漏れがないか再度確認してください。
4. 問題は3問全問解答必須です。
5. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明・ページの落丁・乱丁に気付いた場合、また問題の内容について質問などのある場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用して構いません。
7. 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入してください。
8. 配布された問題・解答用紙は試験終了後回収しますので、持ち帰らないでください。

◇携帯電話は、電源を切ったうえで鞆の中にしまってください。

志望学科・コースの右枠に○をつけてください

志望学科・コース				1年次入学	3年次編入学
人文社会学部	人間文化学科	福祉コース			
		メディア文化コース			
		グローバルコミュニケーションコース			
	経営学科	経営コース			
		トレーナー・スポーツ経営コース			
観光経営学科					
共創学部 デジタル共創学科					
受験番号			氏名	(ローマ字)	
				(カタカナ)	

【問題1】 次の問いに答えなさい。

問1 下の文の ^{ぶん} _____ のことばの読み方として最もよいものを選び、番号で答えなさい。

① 彼女は姿勢が美しい。

- 1 すがた 2 しせい 3 しぐさ 4 たいせい

② 作った料理を冷凍する。

- 1 れいどう 2 れいとん 3 れいぞう 4 れいとう

③ おかしを平等に分ける。

- 1 へいとう 2 へいどう 3 びょうどう 4 ひらど

④ 日本のアニメに興味をもつ。

- 1 しゅみ 2 しゅうみ 3 こうみ 4 きょうみ

⑤ 兄弟で争う。

- 1 あらそう 2 たたかう 3 きそう 4 さからう

⑥ 道が渋滞している。

- 1 しぶたい 2 しゅうたい 3 じゅうたい 4 じゅたい

⑦ 明日の会議は欠席する。

- 1 けつせき 2 けっせき 3 しゅつせき 4 しゅっせき

⑧ この道は狭い。

- 1 ひろい 2 ほそい 3 きつい 4 せまい

⑨ 夜中に大雨が降った。

- 1 よなか 2 よるなか 3 やちゅう 4 やなか

問2 下の文の^{ぶん}_____のことばにあてはまる漢字として最も^{もっと}よいものを選び、^{えら}番号で^{ばんごう}答えなさい。

① 現場に残された写真がしょうことなって、犯人がわかった。

- 1 詳拠 2 証固 3 詳固 4 証拠

② 子どもたちが、公園でさわりでいる。

- 1 騒いで 2 次いで 3 担いで 4 急いで

③ 日本の新幹線は速くて静かでかいてきだ。

- 1 快敵 2 快摘 3 快適 4 快的

④ 明日、この本のちょしゃにインタビューすることになっている。

- 1 記者 2 作者 3 著者 4 筆者

⑤ このアンケートにかいとうすると、プレゼントがもらえる。

- 1 改答 2 回答 3 会答 4 解答

⑥ 私は、子供のころ、まずしい家庭で育った。

- 1 困しい 2 寂しい 3 乏しい 4 貧しい

問3 下の文の^{ぶん}_____に入ることばとして最もよいものを選び、番号で答えなさい。

① あの映画の最後のシーンは、今でも忘れられない^{ばめん}_____場面だ。

- 1 超 2 名 3 好 4 有

② 私は毎朝、新宿駅で地下鉄に_____。

- 1 乗り越す 2 乗り出す 3 乗り換える^か 4 乗り過ごす

③ 少しつかれたので、_____休んで、それからまた始めましょう。

- 1 せっかく 2 いったん 3 さっそく 4 とくに

④ 祖母^{そぼ}は耳が_____ので、私が言うことを何度も聞き返す。

- 1 近い 2 小さい 3 遠い 4 大きい

⑤ 都会ではあまり見ない_____鳥が、発見された。

- 1 めずらしい 2 たのもしい 3 けわしい 4 あわただしい

⑥ 前の車が_____走っているから、信号が赤になってしまった。

- 1 うろうろ 2 のろのろ 3 のびのび 4 きびきび

⑦ 彼は、自分のミスを認めず、_____ばかりしている。

- 1 謝罪 2 お礼 3 お世辞^{せじ} 4 言い訳

⑧ 止まっている車に自転車をぶつけて傷をつけてしまったので、修理代を_____。

- 1 勘定^{かんじょう}した 2 請求^{せいきゅう}した 3 弁償^{べんしょう}した 4 募金^{ぼきん}した

⑨ 試験が近いので、寝る時間を_____勉強した。

- 1 引いて 2 削^{けず}って 3 破^{やぶ}って 4 割^わって

【問題2】 次の問いに答えなさい。

問1 下の文の ^{ぶん} _____ に入ることばとして最もよいものを選び、番号で答えなさい。

① 家庭の経済状況が子供の進学に ^{えいきょう} 影響するのは、受け入れ _____ 現実だ。

- 1 うる 2 かねない 3 がたい 4 えない

② 昨日、会議室の電気が夜まで _____ っぱなしだった。

- 1 つけ 2 つけて 3 つく 4 ついて

③ 若い人のうつ病が増えているのは、働き方や将来への不安が原因 _____。

- 1 でたまらない 2 なのやら
3 かのようだ 4 ではあるまいか

④ 最近はAIが文章まで書けるようになった。それで仕事が減る人も _____。

- 1 いるわけだ 2 いることだ
3 いるわけがない 4 いることはない

⑤ インターネットで見る「成功している人の話」は、一部の例に _____。

- 1 しかない 2 すぎない 3 ほかない 4 いたらない

⑥ この一年、がんばってダイエットした _____、体重は2キロしか減らなかった。

- 1 以上 2 わりに
3 おかげで 4 だけのことはあり

⑦ 私が約束の時間に _____、彼は怒って、話をしてくれなくなる。

- 1 遅れたことには 2 遅れないことには
3 遅れるものなら 4 遅れようものなら

⑧ 仕事が忙しい _____、家族と会話する時間を持たないのはよくないことだと思う。

- 1 ものの 2 ながらも 3 からといって 4 にもかかわらず

⑨ 次の試験でも彼が一番成績がいい_____。

1 だけある

2 ^{けいこう}傾向だ

3 どころではない

4 に決まっている

⑩ 時間に遅れた_____, 大切な試験を受けられなかった。

1 だけに

2 ばかりに

3 となれば

4 にしては

⑪ たとえ体調が悪かった_____, 休むなら連絡をしてほしかった。

1 にしても

2 にかかわりなく

3 のはさておき

4 のもかまわず

⑫ しめ切りまでにこの仕事を終わらせるため、どれだけ残業_____。

1 しつつある

2 したことだろう

3 しようとしている

4 したところだった

⑬ 都会を好む人々_____, 便利さは生活になくてはならないものだ。

1 に関して

2 にしたがって

3 にとって

4 に対して

問2 次の文の ^{ぶん} ★ に入る ^{もっと} 最もよいものを ^{えら} ばんごう 番号で答えなさい。

^{もんだいれい}
(問題例)

^{こんばん}
今晚 ★ 行きます。

1 を 2 食べ 3 に 4 天ぷら

^{かいとう し かた}
(解答の仕方)

1. 正しい文はこうです。

^{こんばん}
今晚 ★ 行きます。

4 天ぷら 1 を 2 食べ 3 に

2. ★ に入る番号は2です。 解答用紙に2と書いてください。

- ① 政府は ★ を考える必要がある。
- 1 に 2 社会の変化 3 ^{たいおうさく} 対応策 4 応じて
- ② 彼は ★ 、会社を ^や 辞めて留学することにした。
- 1 考えた 2 いろいろ 3 と 4 末
- ③ ネットワークがやっと ★ またつながらなくなった。
- 1 思ったら 2 すぐに 3 かと 4 回復した
- ④ 当社の製品はお客様 ★ 開発されている。
- 1 ^{もと} 基づいて 2 意見 3 に 4 の
- ⑤ 新入社員にこの仕事をやらせる ★ 。
- 1 ものだ 2 という 3 無理 4 のは

⑥ 就職の面接から帰ってきた兄は、_____ ★ _____ に見えた。

- 1 様子 2 自信あり 3 な 4 げ

⑦ 娘：大学生になったら、一人暮らしをしてもいいかな。

父：だめだ。_____ ★ _____ 許さない。

- 1 など 2 暮らす 3 こと 4 一人で

【問題3】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

およそ食事の作法^{さ ほう}注(1)は、自然の恵み^{めぐ}に感謝することと、人々の働きに感謝すること、そして相手を尊^{そん}重^{ちよう}することの三点に^つ尽^つきる^{注(2)}。この要点を踏^ふまえて、食事の作法の核^{かく}心^{しん}注(3)を述べていきたい。食事の作法は、ただ形だけを身に付けるのではなく、その意味も一緒に知るようにしなくては意味をなさない。作法の根^{こん}底^{てい}注(4)に横たわる精神を理解すれば、自^{おの}ずと形も整^{ととの}う。なぜそのような作法になっているかを考えれば、すべて感謝と尊重が元にあることが分かるはずである。

そして、食事作法こそが、日本の礼儀作法の根^{こん}本^{ぽん}といってもよいかもしれない。食事作法ができていなければ、いかに他の作法ができていても、何もできないのと等^{ひと}しい。逆に、食事作法さえできていれば、他の作法にできていないところがあっても補^{おぎな}える。

以前、友人のホーム・パーティーに招^{まね}かれたとき、友人からこんな話を聞いて考えさせられた。知り合いかからもらって飼^かっていた^{しやも}軍^{ぐん}鶏^{けい}注(5)を鍋^{なべ}にして家族で食べたのだという。雌^{めす}注(6)だということで卵を期待してもらってきたら、実は雄^{おす}注(7)だったらしく、どうにもなくなって食べることにしたらしい。家族会議の結果「家族みんなで飼^かっていたのだから、家族みんなで食べないといけない」ということになり、父親の指示^{しじ}の下^{もと}、軍^{ぐん}鶏^{けい}を絞^しめて^{注(8)}捌^{さば}き^{注(9)}、家族全員で軍^{ぐん}鶏^{けい}鍋^{なべ}を囲^{かこ}み、悲^{かな}しいやら美^お味^いしいやらで大変だったそう。

①そんな話を聞いて、ある映画の場面を思い出した。クリスマスイブに家族で七面鳥^{しちめんちよう}を食べているとき、最初は夢中で食べていた小さい男の子が、ふと気付いたように「もしかして、これ、〇〇ちゃんなの？」と尋^{たず}ねた。少し間があって、お母さんが領^{うなず}いたとたん、兄弟全員が大泣きして、②楽しいはずの夕食が泣きの涙^{なみだ}に包^{つつ}まれるという場面だった。

しかし「生きる」ということは、こういうことなのではないか。人は動植物の命を毎日頂^{いただ}かないと生きていくことができない。③ 、食事は命^{いのち}を交^{こう}換^{かん}する特^{とく}別^{べつ}な行^{おこな}いなのではないかと思う。

ところが、都会の生活では食品に使われる動物の生前の姿を見る機会がなくなってしまった。牛・豚・鶏^{とり}などは全て切り身^{すりがた}注(10)で売られるため、姿を見る機会はない。魚が切り身のまま泳いでいると思っっている子供もいるという。中国やフランスでは、鶏は生きたまま買ってきて家で絞^しめるのが普通で、それができないと主婦は務^{つと}まらないという。日本の消費者はあまりに甘やかされていないだろうか。

その結果、④今の日本人には「命を頂いて生きている」という感覚が薄^{うす}れてしまっているように思う。この感覚は動物・家族・社会を大切に^めする優^よしさを芽^め生^ばえさせる。これが薄^{うす}れたら、日本人が築^{きず}いてきた和の社会はうまくいかなくなってしまいうに違いない。

自^{みずか}らが大自然の恵みを頂^{うけ}きながら生かされていることを自^じ覚^{かく}していれば、虐^{ぎゃく}待^{たい}注(11)やいじめなどはしないで^{うす}らう。食事の時に感謝の気持ちを持つことは、とても大切なことだ。

〈A〉

このように、食事とは「命を頂く儀式」であって、神聖なものである。食事はそれ自体が神事と考えてよい。さらにいえば、調理や稲作、そして酒造りなども神事そのものである。このように捉えてきた日本人は、「いただきます」と言って食事を始める。これは、元々は「あなたの命を頂きます」の意味で、大自然の恵みに感謝する言葉である。

〈B〉

一方、食後の「ごちそうさま」の言葉は、元の「ご馳走様」の文字を眺めればその意味が分かりやすい。自分のために走り回って食事を整えてくれた人の働きに感謝する言葉である。たとえ自分で料理したとしても、稲や野菜を育て、魚を捕り、塩を作った人がいたはずであり、さらにいえば、調理道具や食器を作った人、食材を運んだ人、ガスを通した人など、大勢の人々の手を経なければ、たった一食の食事も成り立たない。私たちが何気なく食べている一膳のご飯も、大自然の恵みの賜物^{注(12)}であって、途方もないほど多くの人々の手が掛けられて、ようやく用意できるものである。

だから、昔から「お米には神様が宿る」「米を一粒でも食べ残すと目が潰れる」などと教えてきた。「食べ方の汚い人は出世できない」というのも真理を述べていると思う。そういう人は、物事に感謝できない人に違いない。

〈C〉

ところで、「いただきます」「ごちそうさま」という言葉は、英語やフランス語、中国語など他の言語には翻訳できない。そもそも、西洋には自然の恵みに感謝するという発想がなく、人は神に代わって自然を支配するものと考えられていて、このことは聖書にも書かれている。日本人は自然そのものを神として仰ぐ^{注(13)}が、西洋人は自然を人間よりも下位の存在とし、宇宙を創造した超越した存在を神として仰ぐ。このように、日本人と西洋人は根本的な自然観が異なる。

〈D〉

そして、西洋人の多くは、無言で食事を始め、食後も無言のままである。何か言葉にするとしても「楽しい食事を」という程度で、自然の恵みに感謝する言葉は出てこない。キリスト教徒が食前に祈りを捧げることがあるが、それも唯一絶対の「神」への祈りであって、食材や大自然への感謝ではない。自然観が異なれば、人々の思考も動作も大きく異なるのだ。

(竹田恒泰 『日本の礼儀作法 宮家に伝わる7つのおしえ』による)

注(1) 作法：決まったやり方、動作

注(2) 尽きる：それだけ、それ以上のものはない

注(3) 核心：物事の中心となる大切なところ

注(4) ^{こんてい}根底：考え方の元になる重要な部分

注(5) ^{しやも}軍鶏：ニワトリの一種

注(6) ^{めす}雌：動物の女

注(7) ^{おす}雄：動物の男

注(8) ^し絞める：殺す

注(9) ^{さば}捌く：切り分ける

注(10) 切り身：食べやすい大きさに切ったもの

注(11) ^{ぎやくたい}虐待：力を持っている人が弱い立場の人をひどく扱うこと

注(12) ^{たまもの}賜物：神から与えられる贈り物

注(13) ^{あお}仰ぐ：尊敬する

問1 「①そんな」の指す内容として、最もよいものを選び、番号で答えなさい。

- 1 以前、友人のホームパーティーに招かれたこと。
- 2 ^か飼っていた^{しやも}軍鶏が^{めす}雌ではなくて^{おす}雄だったこと。
- 3 家族で^か飼っていた^{しやも}軍鶏を食べたこと。
- 4 クリスマスイブに家族で^{しちめんちょう}七面鳥を食べたこと。

問2 「②楽しいはずの夕食が泣きの涙に包まれる」とあるが、その理由として最もよいものを選び、番号で答えなさい。

- 1 クリスマスイブに家族で七面鳥を食べているとき、ある映画の場面を思い出したから。
- 2 クリスマスイブに七面鳥を食べていたら、友達に見られていると気付いたから。
- 3 クリスマスイブに家族で七面鳥を食べているとき、兄弟全員が大泣きしたから。
- 4 クリスマスイブに七面鳥を食べていたら、それが^か飼っていたものだと思いついたから。

問3 「③_____」に入る最もよい言葉を選び、番号で答えなさい。

- 1 それで
- 2 だから
- 3 また
- 4 だが

問4 「④今の日本人には「命を頂いて生きている」という感覚が薄れてしまっている」とあるが、その理由として最もよいものを選び、番号で答えなさい。

- 1 肉や魚が切り身で売られていて、動物などの生前の姿を見ることがないため。
- 2 魚を切り身のまま泳いでいると考えている人もいるため。
- 3 外国では、鶏は生きたまま買ってきて家で絞めるのが普通のため。
- 4 日本の消費者は甘やかされていないため。

問5 次の段落が入る最もよいところを〈A〉から〈D〉の中から選び、番号で答えなさい。

したがって、「いただきます」は自然の恵みに感謝する言葉で、「ごちそうさま」は人々の働きに感謝する言葉ということになる。日本人は太古の昔から、食事をする度に手を合わせて大自然の恵みに感謝してきた。

- 1 〈A〉 2 〈B〉 3 〈C〉 4 〈D〉

問6 筆者の主張として、最もよいものを選び、番号で答えなさい。

- 1 食事の作法は形を身に付けることが大切だ。
- 2 日本の食事では、命を頂くこと、準備に関わるものへの感謝が大切だとされている。
- 3 「いただきます」「ご馳走様」を言わない人は物事に感謝できない人である。
- 4 日本人と西洋人は根本的な自然観が異なるが、感謝する気持ちは同じである。

